

5 本時の学習（14時間中6時間）

- (1) 猛い 行動や情景の変化から、ごんの気持ちを想像しながら、つぐないを続ける理由について読むことができる。
- (2) 評価規準 場面の移り変わりに注意しながら、ごんの気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読んでいる。 【読むことウ】
- (3) 準備 描絵 短冊 全文シート
- (4) 展開

	学習過程(配時)	学習活動	評価 (◎) 支援 (○) 留意点 (・)
つかむ 考 え る	1 本時の課題 をつかむ （5分） 2 本文から、 つぐないを繰 り返すごんの 気持ちがあら われている文 を選んで理由 を書く （10分）	<p>○ごんは兵十にどんなつぐないをしましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわしを投げ入れた。 ・次の日、山でくりをどっさりひろって ・次の日も、その次の日もくりをひろって ・その次の日には、くりばかりでなく、松たけも二、三本、持って行った。 ・その明くる日もくりを持って <p>○つぐないをくりかえすごんの気持ちが表 れている文を見つけましょう。</p> <p style="text-align: center;">大切 心の言葉・行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ちょっと、あんないたずらしなけりやよかつた」のところでごんは反省していると思 います。理由は、自分のいたずらのせいで兵 十のおつかあが死んだと思いこんでいるか ら反省して、つぐないをくりかえしている と思う。 ・「もうひとりぼっちでした。」のところでご んは兵十に対して自分と同じひとりぼっち なんだなあと思っていると思う。自分と同 じで兵十の気持ちがわかるからつぐないを くりかえすのだと思う。 ・「かわいそうに兵十は、いわし屋にぶん殴られ て…」のところで兵十のことをかわいそ うに思ったからつぐないをくりかえしてい ると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごんの兵十へのつぐないを短冊に書いた物を時系列に並べて黒板に貼る。 <p><教えること> 登場人物の気持ちは行動や言葉に表れるとい うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠となる叙述には線を引 き、つぐないをくりかえす理 由も合わせてノートに書かせ る。 <p>◎場面の移り変わりに注意しな がら、ごんの気持ちの変化、 情景などについて、叙述をも とに想像して読んでいる。</p> <p>○ごんの心の言葉はかぎ「」 の部分を見つければ良いこと を知らせる。</p> <p><考えさせること> なぜそのような行動や言葉 に至ったのかを前後のごん の言動と比べることで理由 を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・叙述を指し示しながらペアで 想像しながら読む。 ・自己や友達の考えを発表す る。 ・「どこからそう考えたの？」 「なぜそう考えたの？」と尋 ねることで叙述のなかの特 にどの言葉に着目してい るのかを明らかにさせ、「前後の場
深め る	3 ごんがつぐ ないを続ける 理由について 話し合う （20分）	<p>○どうしてつぐないをくりかえしていたのか 話し合いましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・●●さんの意見に付け足して、ごんは、自 分のいたずらのせいで兵十のおつかあが死 んだことを反省しているし、いたずらした ことを後悔していると思う。 ・「兵十のかげぼうしをふみふみ行きました」 というところから、兵十への気持ちが強く 	

まとめる	4 まとめることをまとめよう。 (5分)	表れているし、兵十に自分のことを気付いてほしいと思っている。 ・兵十にくりを届けているのは自分だとわかってほしいと思っているから引き合わなくともつぐないを続けている。	面とどう違うの？」と問うことで、違いや変化に気づかせていく。 ・「引き合わないなあ。」の言葉に着目し、相反する心情でありながらも翌日も償いをするのはなぜかと問い合わせ、ごんの気持ちを想像させる。 ・リーフレットの『つぶやき』に本時の学びを反映させて書くことを確認する。
	5 ふりかえる (5分)	○今日の学習を振り返りましょう。 ・中心人物の行動や言葉から気持ちを想像して読めば、人物の思いがわかるとわかった。	・言葉や行動から登場人物の気持ちが読み取れるということを確認する。

(5) めざす児童の姿

ごんの言葉や行動をくわしく読んだり、ごんの気持ちを想像して読んだりすると、ごんがいたずらを反省しているからつぐないを続けるのだということや、兵十のことをひとりぼっちでかわいそうだなと思ってつぐないを続けていたのだということがわかった。

ごんがつぐないをくりかえすのは、兵十に悪いことをしたと反省しているから続けているのだと思っていたけれど、グループやみんなで話し合ってみると「気付いてほしい」という気持ちも持っているとわかった。

(6) 板書計画

